

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

装置産業型から技術立脚型企业へ転身。半導体材料・情報通信材料のグローバルリーダーとして持続可能な社会に貢献

生産能力
1.6倍

ロジック・メモリ成長
7.1%

最先端ロジック成長率
36.9%

AIサーバ出荷成長率
30.2%

② 中長期の経営戦略

1. フォーカス事業の成長

半導体材料・情報通信材料を成長戦略コアに。先端素材での技術差別化と市場創造で市場成長以上の利益成長を実現

3. 次世代材料開発

CVD・ALD材料、InP基板、CdZnTe基板などの次世代グローバルトップシェア製品創出を推進

2. グローバル生産体制構築

半導体用スパッタリングターゲット。磯原工場拡張、ひたちなか新工場、米国アリゾナ州メサ工場(2024年11月竣工)で体制強化

4. サークュラーエコノミー推進

JXサーキュラーソリューションズ(三菱商事合併、2024年7月開始)を通じリサイクル原料集荷と処理変革を加速

③ 対処すべき課題

① 半導体市場成長への対応

- ・生成AIによる市場牽引に対応した生産能力拡張（2028年3月期に1.6倍化）
- ・5nm以降の最先端ロジック向け需要捕捉
- ・AIサーバ向け多層化・微細化・パッケージング技術の強化

② 次世代材料の供給確立

- ・CVD・ALD材料の本格供給体制構築（東邦チタニウム、TANIOBIS GmbH）
- ・InP基板・CdZnTe基板の事業規模拡大
- ・グローバルトップシェア製品の創出

③ 資源循環の実現

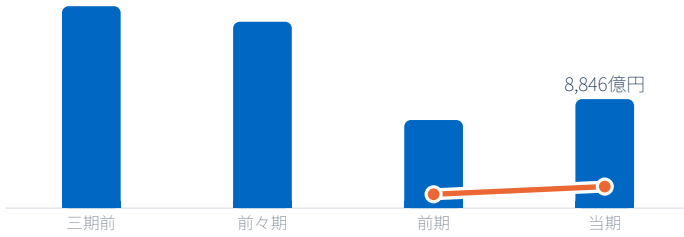
- ・2030年に82百万トン見通しのE-Waste対応
- ・クローズドループ・リサイクル実現の仕組み整備
- ・台湾・米国・カナダ・ドイツ・シンガポール等の集荷体制強化

面接で使えるポイント

- ・2023～2027年にロジック・メモリ市場が年率7.1%成長する中…
- ・アリゾナ州メサ工場竣工（2024年11月）など、生成AIサーバ向け供給体制を急速に整備する成長企業
- ・JXサーキュラーソリューションズ（2024年7月開始）で三菱商事と協働し、サーキュラーエコノミー実現を主導

証券コード 5016

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
8,846億円営業利益率
19.8%財務健康度
64点 / 100点

要するに
非鉄金属資源の開発から製品製造・販売まで一貫して手掛ける企業

主力事業・セグメント

- ・金属・Recycling 44.3%
- ・ICT素材 35.7%
- ・半導体素材 20.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高8,846億円の事業規模
- ・営業利益率19.8%と高い収益性
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 雨 / 就活偏差値 57.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
831万円

非鉄金属内 7位/32社

平均年齢
41.5歳

非鉄金属内 25位/32社

平均勤続
12.9年

非鉄金属内 25位/32社

女性管理職
3.2%

非鉄金属内 19位/28社

男性育休
68.5%

非鉄金属内 17位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 韓国 J X 金属における半導体用スパッタリングターゲットの加工能

